南砺市

定例記者会見資料（６月）

担当課　中央図書館
担当者　保市・松井
☏0763-52-0317

［なんと!バースデーブック事業を開始しました］

［乳幼児から絵本に触れ、親子が触れ合うひと時のきっかけづくりに］

1　１歳を迎えたお子さんに、絵本を２冊プレゼントします。

2　プレゼント絵本は、０～２．３歳向けの絵本17冊の中から選んでいただきます。(はじめて出合う絵本から、これから読んであげたい絵本)

3　家庭での読み聞かせを通じて、子どもが絵本に興味を示す環境を整えます。

4　こども課「なんとの宝お祝い事業」と連携して実施。

※絵本２冊プレゼントは、**令和５年６月**から受取りを開始します。(R４.4月生まれ児童が、R5.５月中に申請の方)

■内容説明

1　対象者

・市内に住所を有し、１歳の誕生を迎えたお子さん

2　プレゼント方法

①１歳の誕生月の翌月上旬に「なんとの宝お祝い事業」「なんと！バースデーブック事業」のプレゼント案内封書が届く。

②プレゼント絵本が展示してある、最寄りの図書館（中央(福光)・福野・井波・城端・平）へ来館

※お子さんといっしょに絵本をひとり２冊選んでください

※図書館利用カードを作成すると、本も借りることができます。

③申請書に記入

④図書館から連絡（申し込み月の翌月）

⑤受け取りを希望する図書館へ来館して、絵本を受け取る。

3　プレゼント絵本（別紙リスト）

・対象年齢　０～2.3歳向け絵本　17冊（英語３冊含む）

※市内５館の図書館にプレゼント絵本を展示（実際手に取って選んでいただく）

なんと！バースデーブック事業

・図書館を身近に・・・
・図書館来館のきっかけづくり

1歳を迎えた児童に、図書館から絵本のプレゼント案内が届く（封書）

図書館へ

◎対象

・市内に住所を有し、1歳の誕生を迎えた児童

◎絵本プレゼント期間

・案内封書が届いてから、3ヵ月以内（1歳3か月までの間）

◎市立図書館では

・0歳～2.3歳向け（計17冊）の絵本プレゼントの見本が展示してあります

・図書館利用カードを作成することができます。

・読み聞かせおはなし会に参加することができます。

◎絵本プレゼントの流れ

①絵本プレゼントの封書が届く

②最寄りの図書館へ行く（封書が届いて3か月以内）

☆図書館来館の際、図書館利用カードを作成すると、すぐに図書館を利用することができます。

③プレゼント絵本をお子さんひとりにつき2冊選んでください。（申請書を提出）

④プレゼント絵本が準備できたら、図書館から連絡がきます。（電話やメール等）

⑤受け取りを希望する図書館で絵本を受け取る（受領書持参）

※各図書館では、ボランティアグループによる「おはなし会」を開催しています。おはなし会当日は、ボランティアグループによる、読み聞かせのアドバイスも受けることができます。
（イベントの詳細は「広報なんと」、南砺市立図書館ホームページをご覧ください）

◎第4次南砺市子ども読書活動推進計画より抜粋

・子どもの読書習慣の基礎は、第一に家庭であり、乳幼児期には保護者が読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりする環境づくりが大切です。
・図書館は、誰もが気軽に利用でき、子どもたちは幼い頃から保護者とともに利用することでき、多くの本の中から読み聞かせや読書を楽しむことができます。
・乳幼児期に本と出合うことは、子ども読書活動を促す最も有効な手段です。

南砺市立図書館

すべての市民に図書館を

生まれてから
読んだ本の貸出
履歴を確認する
ことができます！

0歳

☆図書館利用カード作成

誕生と同時に、図書館利用カードが作成でき、
すぐご利用できます！

1歳

(新)なんと！バースデーブック事業

・絵本2冊プレゼント
・図書館利用カード作成

幼児期

・なんと！みらい文庫

・保育園・認定こども園での絵本等の貸し出し
・子育て支援センターでの本の貸し出し

小学生

中学生

(新)市立図書館と学校図書館との共通システム化

・GIGAスクール構想による、ひとり1台タブレット利用による、本の貸し出し・返却（学校で受取・返却可）
・学校司書モデル事業による、司書の一元化
・授業等に必要な資料の団体貸出
・授業等での図書館訪問（小学校）
・なんと！みらい文庫（児童館）
・YAみらい文庫（中学校）

高校生

・図書館研修の実施（利用説明、読み聞かせアドバイス　等）
・市立図書館との連携事業（おはなし会・工作会等）

社会人一般

◎図書館利用（すべての年齢層において）

・閲覧（本・雑誌・新聞・視聴覚資料等）
・調べもの（レファレンス）
・ホームページからの本の予約
・スマートフォンからの貸し出し

高齢者

・交流センター（31地域づくり協議会）で利用

・団体貸出
・予約資料の受け取り、返却
・サロン等での利用
・福祉施設等へ団体貸出

交流センター

施設向け（団体）

・視聴覚ライブラリー（上映会向けDVD）の貸し出し

南砺市立図書館

0～2・3歳向け

☆ なんと！バースデーブック ☆

南砺市で１歳になったお祝いに、絵本を①～⑰から２冊プレゼント！（令和５年度～）

① くっついた

三浦太郎 // 作・絵　こぐま社　2005年

“きんぎょさんときんぎょさんが”…、“あひるさんとあひるさんが”…、ページをめくると、“くっついた”。
繰り返しが楽しく、最後は親子でくっつくので、まねしたくなります。スキンシップに繋がる絵本。０歳～

② がたんごとんがたんごとん

安西水丸 // さく　福音館書店　1987年

“がたん ごとん がたん ごとん” “のせてくださーい”と、ほにゅう瓶やコップや果物が次々に汽車に乗ります。
繰り返す音や、はっきりした色合い、物にも顔が描いてあるなど、赤ちゃんの好きなことがたくさんある絵本。0歳～

③ くだもの

平山和子 // さく　福音館書店　1981年

みずみずしい色々な果物。食べやすく切って、“さあ どうぞ”と差し出されます。本物みたいでおいしそう。
「おいしそうね」「いただきます」などと話しかけ、食べるまねをして楽しみましょう。1歳～

④ どうぶつのおかあさん
⑤ Animal Moms（英語版）

小森厚 // ぶん 薮内正幸 // え　福音館書店
1981年　（⑤:ロバート キャンベル // 英訳　2020年）

ねこ、ライオン、さるなどのお母さんが、いろいろなやりかたで子どもを運びます。「赤ちゃん小さいね」「かわいいね」などと話しかけましょう。
特徴をとらえた絵で、動物園に行く前後に読むと更に興味を引きます。１歳～

⑥ ととけっこうよがあけた
わらべうたえほん

こばやしえみこ // 案 ましませつこ // 絵
こぐま社　2005年

にわとりが“ととけっこう…”と歌いかけると、ひよこが、こねこが、次々に目を覚ます。巻末に楽譜があり、簡単な節で歌えます。
お子さんの名前を入れて歌いながらトントンさわってあげるのも楽しい。
１歳～

⑦ おつきさまこんばんは
⑧ Good Evening Mr. Moon

林明子 // さく　福音館書店　1986年
（⑧:ロバート キャンベル // 英訳　2020年）

夜、屋根の上が明るくなって、お月さまが出てきました。雲で隠れそうになって困った顔になりますが、最後はきれいなお月さまがにっこり。ねこも月を見ていますよ。
一緒に月を見上げたくなりますね。１歳～

⑨ コロちゃんはどこ？（ボード・ブック）

エリック・ヒル／さく　まつかわまゆみ／やく
評論社　2004年（コロちゃんのびっくり箱：1984年）

子犬のコロちゃんが、ごはんの時間にいないので、ママが家の中を探します。“ドアの後ろかな？”と開けると、クマがいて「ちがうよ」と言います。
開けると、いろんなユニークな動物が出てくる しかけ絵本。１歳～

⑩ もこもこもこ

谷川俊太郎／作　元永定正／絵
文研出版　1977年

しーんとした、空と地面。何かが“もこ”と出てきて、大きくなり…。形の変化にぴったりの音があって楽しい。最後は再び“しーん”として“もこ”と、最初の場面に戻ります。
赤ちゃん向けとしては大きめの絵本。1歳～

⑪ パンダおやこたいそう

いりやまさとし／作　講談社　2017年

“おやこたいそう はじめるよ。” かわいいパンダの親子が、ぐーんと伸びをしてたけのこになったり、子パンダをゆらゆらして振り子のまねをしたり。
親子で読みながら一緒に体を動かしましょう。１歳～

⑫ うずらちゃんのかくれんぼ

きもとももこ／さく　福音館書店　1994年

うずらちゃんが ひよこちゃんと かくれんぼ。うまく隠れても、思わぬハプニングで見つかります。
隠れているのを見つける楽しさ、お友達と遊ぶ楽しさ、困ったときにお母さんが来てくれる嬉しさ。いろんな喜びが味わえます。２歳～

⑬ おおきなかぶ ロシア民話

A. トルストイ／再話　内田莉莎子／訳
佐藤忠良／画　福音館書店　1966年

おじいさんが植えた かぶはとてつもなく大きくなり、抜けません。そこで、おばあさんを呼んできました。
“うんとこしょ どっこいしょ”などの言葉の繰り返しが楽しい。だんだん大勢になり、最後に抜けるのが爽快な、ロシア民話です。２歳～

⑭ カレーライス

小西英子／さく　福音館書店　2016年

“カレーライス、さあ、つくろう！” 材料を準備して、それを切って、お肉を炒めて…。“いただきまーす!!”までをていねいに描きます。カレーがいい匂いでおいしそう。
“トントントン”など音も楽しく、作るまねをしたくなります。２歳～

⑮ せんろはつづく

竹下文子／文 鈴木まもる／絵
金の星社　2003年

野原で、子どもたちが線路をつくり、つなぐとどんどん長くなります。途中に山や川があり、どうするか考えて工夫します。
自分たちで線路をつくり列車で走ったら楽しいでしょうね。ごっこ遊びにもつながりそうです。２歳～

⑯ はらぺこあおむし　⑰ 英語でもよめる はらぺこあおむし（The very hungry caterpillar）

エリック＝カール／さく　もりひさし／やく
偕成社　1976年　（⑰：2006年）

日曜日に卵から生まれたあおむしは、おなかがぺっこぺこ。月曜日はりんごをひとつ、火曜日は なしをふたつ…と、１週間たくさん食べて さなぎから きれいなちょうになります。
穴あきのしかけを指でさわり、食べるまねをして楽しめます。２歳～